様式１４

下請代金支払状況等調査表

・下請業者毎に別葉としてください。

・労務、材工一式（注）毎に別葉としてください。

下請業者名

工事名

工事場所名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 問１ | 発注者から受けた前払い金額は | 円 |
| 問２ | 下請業者に対する前払金の支払について①工事着手に必要な費用を現金で支払った②工事着手に必要な費用を現金と手形で支払った③工事着手に必要な費用を手形で支払った④発注者から前払金の支払いを受けたが、下請業者には支払っていない | 該当番号　　　　　 |
| 問３ | 問２で②と回答した場合、現金と手形の支払比率は | 現金　　　　割手形　　　　割 |
| 問４ | 問２で④と回答した場合の理由について①下請業者が前払金の請求を放棄したため②下請業者に保証人等を立てることを請求したが、これを立てなかったため③自社の運転資金としたため④前払金の支払が遅れたため⑤自社の資材購入等、当該工事に使用したため⑥下請業者が保証人を立てられないことから部分払、完成払で支払うこととしたため⑦下請業者との契約上前金払を行うこととしたが、部分払と完成払で支払ったため⑧下請業者との契約上前金払を行うこととしたが、完成払のみで支払ったため ⑨その他（その理由を具体的に記入して下さい。） | 該当番号　　　　　理由： |
| 問５ | ①下請業者に下請代金を支払った日は（最終）②発注者から支払いを受けてから①までの日数は（下請業者から引渡しの申し出があった日から①までの日数は）③支払った金額は（支払った下請代金の合計） | 　　年　　月　　日　　　　　　　　※　　　日　　　□　　　　　　　　　円 |
| 問６ | 下請業者に対する完成払の支払方法について①完成払に相当する額を現金で支払っている②完成払に相当する額を現金と手形で支払っている③完成払に相当する額を手形で支払っている | 該当番号　　　　　　 |
| 問７ | 問６で②と回答した場合、現金と手形の支払比率は | 現金　　　　　　割手形　　　　　　割 |
| 問８ | 問６で②又は③と回答した場合、最長の手形期間は | 　　　　　　　日 |

注１：問５の支払状況等がわかるものを添付してください。（領収書の写し等）

注２：労務 － 労務下請（労務の提供を主とする下請契約）

材工一式 － 材工一式（外注）下請（材料・機械と労務の提供を一括した下請契約）

※ ：元請が特定建設業者であり、下請が資本金の額が4,500 万円未満で一般建設業の場合は（ 　）書き

による日数と比べ長い方を記載してください。（　 ）書きの日数となる場合は□にチェックしてください。